

主題：雅歌に描写されているような勝利の生活

メッセージ 3

第一段階で勝利を得る (2)

召会生活の中で造り変えを通して美しくされる

聖書：雅 1:9-16 前半、2:1-4

- I. 勝利を得る第一段階で (雅 1:2 — 2:7) キリストを追い求める者はキリストに引き付けられ捕らえられることによって、この世の吸引に打ち勝ちます—— 1:2-4. マタイ 4:16-20. ルカ 9:23-24. ヘブル 12:2, 13:13. 詩歌、333 番。
- II. 主に対するわたしたちの愛は、彼を愛するわたしたちの能力にかかっているのではありません。それは彼の愛すべきことにかかっています——雅 5:10-16：
- A. 主イエスを愛することは、わたしたちが彼を愛することができるという事柄ではなく、彼が絶対に愛すべきものであるということです——詩歌、138, 141, 142 番。
- B. わたしたちは主の美しさを見ることなく主を愛することはできません。いったん彼の美しさを見たなら、彼を愛さないわけにはいきません——雅 1:2-4. マルコ 12:30. I コリント 2:9。
- C. 主イエスは愛すべき方であり、彼を愛する者をも愛すべきものとします——雅 4:10。
- III. わたしたちは主の美しさに引き寄せられて彼を愛した後、唯一無二の学課を学ばなければなりません—— 1:9-11：
- A. 雅歌は愛だけでなく、意志の服従についても語っています—— 10 節、4:1, 4。
- B. わたしたちの意志が服従すればするほど、ますますわたしたちは造り変えられます：
1. 第 1 章 10 節で、愛する方は、彼に対する服従における追い求める者の愛すべきこと (編まれた髪飾りの飾り輪で愛らしい頬)、造り変える霊に対する従順における美しさ (宝石の首飾りを持つ首) を評価します。
 2. 第 4 章 1 節で、キリストを愛する者の服従における美しさ、神の養いを通しての従順 (やぎの群れのような髪) を見ます。
 3. 第 4 章 4 節で、キリストを愛する者は、彼に対する服従である意志 (ダビデの塔のような首) を持つことで美しいのです。
- IV. キリストを愛する者は、召会生活における造り変えの過程を通して美しくされます—— 1:7 — 2:4：
- A. わたしたちが勝利者であるか敗北者であるかは、わたしたちの魂の造り変えと、神の造り変える働きに対するわたしたちの態度にかかっています——ローマ 12:2：
1. 神の造り変える働きは、実は彼がご自身の王国を行使することです。
 2. 造り変えは、わたしたちの存在における天的で、霊的で、神聖な新陳代謝の変化です——雅 1:9-11, 15. 2:1-2。
- B. 召会生活における造り変えは、造り変える霊によって遂行されます——II コリント 3:18：
1. キリストを愛する者は召会生活の中に入った後、その霊の造り直しによって造り変えられ始めます——雅 1:9-16 前半、2:1-2。
 2. 造り変えとは、追い求める信者たちの中に神の属性を造り込んで、彼らの美德と

- ならせることです——ローマ 12:2, 9-21。
- C. キリストを愛する者は、強い天然のパースン（雌馬）から、単一な目（はどのような目——マタイ 3:16. 10:16）で主を見つめるパースンに、自分に頼るのではなく彼に信頼する命を生きるパースン（ゆり—— 6:28）に造り変えられます：
1. 彼は、その霊によって単一な目（はどのような目）で彼を見つめることでの彼女の美しさを評価します——雅 1:15：
 - a. 主イエスの目にわたしたちの美しさの際立った面は、彼に対するわたしたちの単一な目です——マタイ 6:22。
 - b. はどのような目は、主を見つめることから来る霊的な洞察力を表徴します——II コリント 3:18. ヘブル 12:2。
 2. はどのような目を持った後、彼女はゆりになります。それは、彼女が今や自分の天然の力ではなく、神に信頼する生活をしていることを表徴します——雅 2:1-2。
- D. この造り変える働きには、何人かの「造り変える者」の協力が必要です。彼らは成就する者であり、追い求める者が神の性質において神を知り、キリストを経験するのを助けます—— 1:11. エペソ 4:11-12：
1. 彼らは追い求める者を、神に対する服従において、その霊の造り変えを通して、彼女の表現（頬）における飾り物としての神の神聖な性質（金の板）をもって美しくします——雅 1:10-11。
 2. 成就された者はその霊と協力し、造り変える霊の分与を通して、宝石の鎖で表現された神聖な命をもって、追い求める者を美しくします—— 10 節。
- E. 造り変えは祝宴です。この祝宴でわたしたちは、足が不自由であったメピボセテのように、王の食卓で王の豊富を享受します—— 12 節. サムエル下 9:1-13：
1. ダビデはメピボセテの命を守り、彼の嗣業を回復し、彼を祝宴に招いて同じ食卓に着かせました—— 7 節。
 2. メピボセテはダビデから恵みを受けた後、食卓の下の自分の不自由な足ではなく、ダビデの食卓の豊富だけを見ました—— 4:4. 9:13。
 3. わたしたちは王、イエス・キリストの食卓に着いているとき、自分の「不自由な足」を忘れ、わたしたちの造り変えのためのキリストと彼の計り知れない豊富を享受すべきです——雅 1:12. 2:4. ヘブル 12:2. エペソ 3:8. 詩歌、403 番。
- F. キリストを愛する者の彼に対する愛は、ナルドのように香りを放ちます——雅 1:12. マルコ 14:3. ヨハネ 12:3：
1. キリストのかおりは、愛する者のナルドによって表現されます——雅 1:12。
 2. わたしたちのキリストの経験はナルドの中に構成し込まれ、わたしたちはキリストのかおりを入れるものを持つべきです。
 3. 第一に、キリストはわたしたちを満足させ、わたしたちはナルドを得ます。次にわたしたちは、ナルドの中のキリストのかおりによって彼を満足させます。
- G. 愛する者と愛する方はいずれも美しさを持ち、互いに美しさの評価し合います。これは造り変えが、キリストと彼を愛する者の間の相互の評価を生み出すことを見えています—— 15-16 節前半. イザヤ 33:17 前半. 詩 45:11 前半。